

音楽科（一般）調査資料 1 - 1

項目	書名 中学音楽 音楽のおくりもの <span style="float: right;">17 教 出</span>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<p>○音楽を愛好する心情や感性を育てるために大作曲家や、著名人の言葉を掲載し、生徒の興味関心を引き出す工夫がされている。</p> <p>○各学年ともに3年間の系統性を図り、共通した大きな3つのまとまりを主として構成されている。また、このまとまりを基に各教材に関する補助教材等が設定され、発展的な学習ができるように配慮されている。</p>
特色 内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b>            ○Let's sing、Let's Try では、知識や技能を視覚的にも理解しやすいよう図絵で表されている。また、教材とも関連させ、各々の技能を試み、楽しめるよう工夫されている。            ○楽典のページの記載があり、内容についても整理されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b>            ○教材の音楽の用語や記号を明確にし、調べやすいよう工夫されている。            ○共通事項については、「活動のポイント」が教材ごとに示され、学習内容が明確化されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b>            ○現代に活躍する人のメッセージや作曲家の創作物語からの言葉など、興味関心を高め、学習に取り組めるよう工夫されている。            ○歌のアルバムの「工夫してみよう」で、共通事項に関わる活動のポイントが示されており、生徒の学習のヒントになっている。</p> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫&gt;</b>            ○発展的学習内容には、「発展」と示され、他教科とも関連させ、興味をもって学習できるよう配慮されている。            ○Let's Try と関連させ、音楽をつくる楽しさが体験できるよう工夫している。            ○「音のスケッチ」では、創作活動を取り入れての表現の仕方を示している。</p> <p><b>&lt;音楽文化についての理解を深めさせる工夫&gt;</b>            ○音楽史や「肖像で見る音楽年表」で、日本と西洋を比較しながら我が国や郷土の伝統音楽について理解できるよう工夫されている。            ○「私たちの暮らしと音楽」では、現在の音楽や音楽文化教育をとりまく様々な問題について考えさせるような例があげられている。            ○我が国の伝統音楽、郷土の民謡や芸能について、歌唱、器楽、創作、鑑賞の全ての学習を通して取り組めるようになっている。            ○鑑賞曲は親しみやすく、外国の曲をたくさん取り入れて我が国と諸外国の音楽の共通性や固有性から音楽の多様性を理解できるよう配慮されている。            ○教材に対し比較聴取を設け、言語活動を通して聴き取る力を高める工夫がされている。</p>
資料	<p>○巻頭口絵は写真やイラストのみでなく、メッセージを掲載するなど、新鮮で印象的である。</p> <p>○見開き3ページにわたる資料があり、楽典・楽譜・楽器の写真など各学年で見やすく工夫されている。</p>
表記・表現	<p>○楽譜の表記は、伴奏譜が小さく歌唱譜を大きくするという工夫がある。</p> <p>○音符や文字は、字間や行間が見やすく、記号用語の表記も適切である。</p>
総括	<p>○発展的学習内容には、「発展」と明示し、他教科とも関連させ、興味をもって学習できるよう配慮されている。</p> <p>○教材に対し比較聴取を設け、言語活動を通して聞き取る力を高める工夫がされている。</p>

音楽科（一般）調査資料 1 - 2

項目	書名 <h2 style="text-align: center;">中学生の音楽</h2> <div style="text-align: right;">27 教 芸</div>
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<p>○「音楽学習MAP」に歌唱、創作、鑑賞のまとまりごとに示され、それぞれが関連づけられ、系統的に学習できる構成となっている。</p> <p>○音楽文化について理解が深まるよう、幅広い分野から教材を取り上げている。また、各教材の学習の目標が「学習の窓口」と関連付けながら記されている。</p>
特色	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○「Grade up」「BINGO GAME」「RHYTHM GAME」「My Voice」「指揮をしてみよう」のコラムで、学習内容を確認できるようになっている。また、ワーク形式を取り入れ、書き込みながら学習できるよう工夫されている。</p> <p>○多面的な側面から評価できるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○共通事項については、各教材の学習目標と共に「学習の窓口」のアイコンで示されている。</p> <p>○ヒントとしてイラストによる吹き出しを提示して、考えを深めさせるよう配慮されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○「日本の歌」は、季節に合わせて配列されている。</p> <p>○作詞・作曲者の紹介、作曲者のことばを載せ、生徒の興味関心を高めるよう配慮されている。</p> <p>○曲の上部に各教材の目標を明示し、方法についても赤の◎でアドバイスを提示し、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫&gt;</b></p> <p>○発展的学習が設けられ、他教科との関連を図り、興味をもって学習できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の楽典資料「音楽の約束」で基本的な内容を確認しながら学べるように作られている。</p> <p><b>&lt;音楽文化についての理解を深めさせる工夫&gt;</b></p> <p>○「心の歌」では、1ページにわたる大きな美しいカラー写真と共に、各学年2曲以上配列されている。</p> <p>○伝統芸能や民謡なども興味関心をもって取り組める内容である。</p> <p>○鑑賞曲のページでは、共通事項を「学習の窓口」と統一された色分けで、ポイントとして提示し、日本の伝統音楽や外国の音楽など、ワークシート形式で学習を進めることができる。</p> <p>○発達段階に応じ、曲から感じたことを基とし、話し合い活動をスムーズに進められるよう工夫されている。</p>
資料	<p>○表紙は白を基調として、楽器のイラストはシンプルなデザインになっている。</p> <p>○日本の楽器と世界の楽器、日本の音楽史と西洋の音楽史を対比させることにより、日本と世界の関係をつかめるような配慮がされている。</p>
表記・表現	<p>○表紙裏には、日本や外国の演奏風景が載せられ、臨場感あふれる写真が印象的で、音楽のスケールの大きさや大切さが伝わる工夫がされている。</p> <p>○重要事項が太字で標記されている。</p>
総括	<p>○発展学習が設けられ、他教科との関連を図り、興味を持って学習できるよう工夫されている。</p> <p>○発達段階に応じ、曲から感じたことを基とし、話し合い学習をスムーズに進められるよう工夫されている。</p>